

教科シラバス（国語科）

科目名	学年	使用教材	【教科書】 精選古典B 新版 （東京書籍）
古典B	2年（理系）		
単位数（2）	<div>必修</div> ・選択		【副教材】 新総合図説国語（東京書籍）、体系古典文法八訂版（数研出版）、 漢文必携四訂版（桐原書店）、核心古文単語351（尚文出版）、 三訂版正しく読み・解くための力をつける古典ステップ2（数研出版）

【学習目標】（各科目の目標を示す）

①古典としての古文と漢文を読む能力を養う。 ②ものの見方、感じ方、考え方を広くする。 →①②を通じて古典についての理解や関心を深め人生を豊かにする態度を育てる。 ※ <u>読む能力</u> と <u>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</u> を中心とした科目。

【学習方法】

① 本文を音読する。 ② 不明な語句を辞書等で調べながら、適切に口語訳する。 ③ 本文の主題を読み取り、部分的な表現についても、筆者の意図をくみ取る。

【学習評価】

次の3観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。					
①関心・意欲・態度	古典を読む能力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。				
②読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。				
③知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。				
評価方法／観点	①	②	③		※評価は、定期考査の割合が高くなりますが、授業態度、課題提出状況、小テスト等含めて評価します。
授業態度	◎	○		行動の観察、自己評価の記述の点検など	
ノート	◎	○	○	予習・授業メモの記述の点検など	
課題・レポート	○	◎	○	提出物の記述の点検など	
古文単語テスト・句法テスト			◎	家庭学習の成果	
考査		◎	◎	定期考査（年5回）、課題考査（年3回）	

【学習アドバイス】

○予習、授業、復習の黄金サイクルを確立しましょう。 ○・理解が難しい箇所については、随時質問し、早めに理解しましょう。
＜課外授業について＞ テキスト（未定） 実施方法・内容等 古典分野の実力養成

【年間学習計画】

※A 3をA 4サイズに縮小印刷しています

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
5	「完璧而帰」（十八史略）	・各段落の内容を捉え、登場人物の発言の意図を読み取る。 ・「完璧」の原義、転義を知る。 ・句法、語彙の習得	的確な現代語訳をする。 内容や表現について考える。 （提出物、確認テストなど）
	「中納言参り給ひて」 「宮に初めて参りたるころ」 「雪のいと高う降りたるを」 （枕草子）	・登場人物の会話内容や人間関係を捉える。 ・登場人物の様子や心情、人柄を捉える。 ・場面、人物の行動や意図を捉える。 ・敬語、古語、古典常識の理解	的確な現代語訳をする。 内容や表現、時代背景について考える。 （提出物、確認テストなど）

＜定期考査対策について＞ ① 教科書本文の古語や古典文法、漢文の語句の意味などをしっかり身につける。 ② 口語訳をした授業ノートをもとに、再度原文の口語訳に取り組むとともに、授業中の発問について要点を整理し、再度まとめ直す。 ③ 試験範囲にある漢文句法、古文単語についても、同様に何度も書いてしっかり身につける。	＜対外模試対策について＞ ① 特別な対策をするのではなく、普段の授業や課題への取り組み自体が対外模試対策になると いうことを意識する。
---	--